

# 予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

## 総務分科会

議案第93号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第7号）

### 避難所における新型コロナ対策のための資機材を整備

#### ○防災施設環境整備費 4,427万9,000円

（概要） コロナ禍における感染症対策を踏まえ、大規模災害が発生した場合の避難所の環境に万全を期すため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、資機材を整備するとともに、それらの資機材を保管するための倉庫の設置に要する経費を計上するもの。

（内訳） 圧縮毛布 1,290枚  
非常用トイレ処理袋 4万2,400枚  
非常用LPガス・ガソリン発電機 34台  
防災コンテナ倉庫 9棟  
防災倉庫 1基



発電機



防災コンテナ倉庫

質疑 購入する資機材は、全て年度内に納入されるのか。

答弁 年度内に納入される予定である。

### 救急救命講習などに使用する実技用訓練人形を増設

#### ○救急啓発費 238万9,000円

（概要） 救急救命講習などの実技学習において、密集、密接を防ぐことにより、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、実技用訓練人形の増設に要する経費を計上するもの。

質疑 購入する実技用訓練人形の種類ごとの用途、納入時期、耐用年数および使用頻度は。

答弁 実技用訓練人形は、大人、子ども、新生児のそれぞれを対象とした心肺蘇生の訓練人形の計3種類を購入する。納入時期としては、年度内の納入を予定している。耐用年数は決まっていないが、使用によって摩耗が見られた際は、更新を検討する。現在、運用している実技用訓練人形の本年の使用実績としては、救急法講習を65回開催し、2,048人の参加があった。なお、本年は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年の3分の1程度の開催回数となっている。



実技用訓練人形